

認定特定非営利活動法人まちづくりスポット大津

# 2025年度事業報告書



公益財団法人 平野富財団 第14回「2025年度事業プラン」協賛者様集まり交流会 撮影：大津 4080 クラウドエスエフ 提供



## 2025年度の総括

2025年度は夏原グラント事務局がしがNPOセンターから移管され、1年間を通じて順調に対応することができた。助成金目録贈呈式の運営に始まり、助成を受けている団体からの前年度分の実績報告書のチェック、講座や交流会の企画運営、2026年度応募に対する対応など、複雑に絡み合う内容をスタッフ間で連携しながら進められたことは、夏原グラント以外の事業にも応用できるヒントを得られた。

中間支援組織としては、講座開催、相談対応、相談や助成金を通じた団体のインキュベーションなどに注力した。中でも、NPO法人設立相談や団体のインキュベーションに向けた講座や相談対応は、最も中間支援組織らしい取り組みだと思われるので、他の県内中間支援組織と比較しても、スキルの的にも充実してきたと自己評価してもよいだろう。

その他、各種事業に取り組んだ。ランチ内の店舗に呼びかけ実施している「あつまれ!!ランチキッズ探検隊」は、分散開催とした。つなぐサロン、フードライブ、防災企画、毛糸ポンポンデコレーションなどの事業は、連携先を探しながら協働事業としての位置付けをして実施した。こうした事業の成果等は、ホームページ、SNS、広報紙等で広くPRした。

大和リースから受託しているハッシュタグ大津京管理運営、近江神宮外苑公園利用受付では、順調に利用が増えている。

賛助会員や寄付者の新たな獲得については、十分実績を上げることができず、認定NPO法人であることのメリットを活かすことが課題であった。

## 市民活動・まちづくり等支援のための参加の機会創出事業

### (1) 地域の人が気軽に参加できる講座やイベントの開催

#### あつまれ!!ランチキッズ探検隊vol.8

【協力店舗】マックスバリュ・Flower produce ichica・キリン堂・管理事務所・PETEMO・SG-Park・Whip Whip・ロンフーダイニング・クラウンカー&ケバブ

開催日:

2025年7月24日(木)、8月5日(火)、8月21日(木)

参加者数:46名

参加費:500円/人

共催:ランチ大津京

後援:大津市、大津市教育委員会

本企画は、ランチ大津京のお店の協力を得て開催する夏休みの子ども向けお店体験企画である。店舗ならではの商品やサービス、仕事の内容を店舗スタッフが考案した子ども向けプログラムで体験する。日頃の買い物で接する以外に、体験を通じた新たなコミュニケーションが生まれ、店舗側には自店舗の特徴や消費者からの関心を再発見してもらう機会ともなっている。

今回は3日間に分散した開催とし、9店舗がプログラムを考案し、実施した。開催体制を変更したことで、ガイダンスやアンケート記入を室内で行えるなど、酷暑中の実施にも工夫ができた。参加した子どもは46名。各店舗では熱心な顔つきで体験に参加していた。保護者の方からのアンケートでも、日頃見られないような子どもたちの様子について触れる方が多く、満足度の高い内容で実施できた。





## 地域防災～つながるしくみづくり～

**【協力団体】**滋賀学区まちづくり協議会/滋賀学区自主防災会/(社福)大津市社会福祉協議会/アスク大津京保育園/ナーシングクリエイト(株)/南草津マンション防災委員会/NPO法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA)立命館大学草津クラブ/龍谷大学ボランティア・NPO活動センター/NPO法人ながらまちづくり協議会自主防災会/山中比叡平学区まちづくり協議会/おーら保育園/NPO法人猫の事務所KIND/おうちづくり相談室/守山防災チームみらいと

**開催日:**  
2025年11月3日  
(月祝)

**参加者数:**250名  
(うち子ども150名)

**後援:**大津市総務部  
危機・防災対策課

毎年11月にランチ大津京で開催される「滋賀学区まちづくり協議会」の文化祭と連携し、防災意識向上と地域連携強化を目的とした防災イベントを実施した。連携団体が活動のパネル展示を行ったほか、自主防災会による胸骨圧迫体験や、近隣保育園による防災の取り組みや幼児向け備蓄展示、社会福祉協議会による車いすおよび高齢者体験など、多世代が参加し学ぶ機会となった。14団体の協力により、防災と福祉を横断した学びと交流が生まれ、平時からの備えを地域で共有する仕組みづくりの一助となった。



## フードドライブ

**【寄付物届け先団体】**

(特活)こどもソーシャルワークセンター/(特活) CASN(カズン)/(特活)あめんど/(社福)滋賀県母子福祉のぞみ会/母子生活支援施設母と子の家しらゆり/自立援助ホーム奏(※新規寄付先団体)

**開催日:**  
2025年11月28日  
(金)～12月15日  
(月)まで実施

今回6回目となるフードドライブでは、お米やレトルト食品、粉ミルク、洗剤等たくさんの寄付をいただき、合計425点集まった。回覧板を見た地域の方やチラシ、Instagram、ホームページを見てお持ちいただいた方等、たくさんの方に思いを寄せていただいた。



## 【参加型アートイベント】毛系ポンポンデコレーション2026

■毛系寄付：4人

■ワークショップ参加：59人

■オーナーツリー参加団体：12団体

NPO法人BRAH=Art./くれおカレッジ/この指とまれヤーンボミングの会/しがねこ譲渡会/will be smile&唐崎カピバラ食堂/アスク大津京保育園/えほんと。/さくらちゃんプロジェクト/湖西ゆびまるこ/にじのわ滋賀/ままものわ/pure @byMICO nail arts/

開催日：

- ・装飾期間：2026年1月5日～月末
- ・イベント：2026年2月1日～月末
- ・ワークショップ：2026年1月24日
- ・ミニワークショップ

2026年1月10日/1月28日

参加者数：のべ155名

参加費：100円もしくは

毛系ひと巻/人

協力：さくらちゃんプロジェクト

(ワークショップ担当)

2022年の開始から5年目を迎えた本アートイベントは、本年度「つながり」をテーマに開催した。

1本の木の装飾をグループで担当してもらう取り組み「オーナーツリー」では、多忙な団体も参加しやすいよう、装飾期間を延長したり、団体紹介プレートデザインいただくなどの工夫をした。その結果、各団体の個性が際立ち、活動内容を広く発信する機会となった。また、ポンポンづくりのワークショップを複数回に分けて開催し、参加者の拡大につながった。

ワークショップでは、子どもから高齢者までがポンポンづくりを通して交流し、飾られたツリーはフォトスポットとして賑わう姿が見られた。さらに、ネットニュース掲載を機に広域から反響があり、市民からの毛系の寄付など、物理的な支援の輪も広がる実りある開催となった。



## (2) 社会課題、地域課題解決のために必要な講座やイベント

### つなぐサロン①「生きづらさを抱える若者を支える地域をどうつくるか」

**開催日:**

2025年7月29日（火）

**参加者数:**23名

**参加費:**500円/人

**共催:**NPO法人碧いびわ湖

**後援:**滋賀県フリースクール  
等連絡協議会

**話題提供者:**

原 未来さん

（滋賀県立大学准教授）

**事例報告:**

①恒松 勇さん

（NPO法人あめんど理事）

②谷川 知さん

（大津オルタナティブスクール  
トライアンプ代表）

多様なテーマから意見交換の場をつくる“つなぐサロン”シリーズとして開催。子ども、若者支援に関わる活動（フリースクール、不登校支援、居場所づくり、子ども食堂など）に取り組んでいる団体、行政職員、社会福祉協議会、小学校教員、個人事業者等の参加があり、多様な視点・立場から課題共有と意見交換することができた。

話題提供として、原さんからは居場所と地域の接続部分として“半外地”（居場所と社会をつなぐ中間的な場を設けることで、徐々に社会への接続を促す）をつくるという考え方や居場所の“出口”ありきではなく、居場所を起点として本人が生活圏を広げていく視点（＝生きられる場を広げる）を持つことの重要性についてお話があった。恒松さんからは、スモールステップ型の就労支援の取り組みを紹介いただき、谷川さんからは、若者たち本人が納得のいく“出口”を一緒に見つける姿勢を持てる大人が地域にいることの必要性についてお話いただいた。参加者との意見交換を通して、地域の中に小さな居場所をたくさんつくり、支援者、応援者を増やすことで生きづらさを抱える若者たちが安心して社会に出ることができると再確認する時間となった。



### つなぐサロン②

#### 「中間支援組織のノウハウを分け合う会～事務局スタッフ・人材の悩み～」

**開催日:**

2026年1月7日（水）

**参加者数:**19名

**参加費:**無料

**講師:**

茶木 修一さん（草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課）

園田 由未子さん（NPO法人愛のまちエコ倶楽部 理事）

2025年 年始に実施した、テーマ型交流会“つなぐサロン”「まち協・地協・地域自治組織支援に関する事例・情報交換会」を引き継ぐ、第2回目の中間支援情報交換会として企画した。

テーマには、地域で事務局スタッフを雇用しながら活動する非営利組織の人材について取り上げ、草津市におけるまちづくり協議会の事務局事例、東近江市で活動するNPO法人の小規模ながら組織の継続性を見越した採用・業務分担の工夫について話題提供を受けた。参加者には、各地域の中間支援6団体、2市の担当者、まち協設立の準備などに取り組む地域の方など多様な方が参加され、質疑や意見交換を通して自組織の課題と話題提供で得た工夫の視点を掘り下げて共有できた。



## 2 市民活動・まちづくり等に関わる人材育成事業

### (1) 非営利活動に取り組む人/団体に向けたスキルアップ講座

#### ミニ講座「活動をはじめるときの講座（活動のはじめ方）」

<b>開催日:</b> ①2025年4月12日（土）	活動を始める人に向けた初歩講座として開催。2名の参加者があった。今回参加された2名は、すでに様々な取り組みをされていたが、自団体活動の見直しをしたというニーズがあり、参加された。
<b>参加者数:</b> 2名	
<b>参加費:</b> 500円/人	講座では、活動をはじめるときの動機や、仲間などと始めるきっかけについて講師から紹介した。昨今の社会情勢や暮らし将来の課題などについて、どういった担い手により課題解消するか、企業や行政以外の主体として市民参加について紹介。「ボランティア元年」と言われる阪神・淡路大震災に関連したボランティア団体の活動やNPO法人としての法人格の誕生などを伝え、社会の担い手としての市民活動について解説した。
<b>講師:</b> 阿部 圭宏（NPO法人まちづくりスポット大津代表理事）	



#### ミニ講座「活動をはじめるときの講座（仲間とお金）」

<b>開催日:</b> ②2025年5月17日（土）	活動を始める人に向けた初歩講座として実施した3回シリーズの2回目。団体として活動していくときに大切な仲間づくりと資金について紹介した。今回は3名が参加した。講座では活動のはじまりにある「気づき」や「ほっとけない」に対して、仲間と活動を始め、少しずつ多くの人に課題の認識が広がり、社会的な活動につながっていくプロセスを紹介し、仲間と活動する大切さを伝えた。また資金獲得の方法についても解説、財源の種類などを紹介した。
<b>参加者数:</b> 3名	
<b>参加費:</b> 500円/人	
<b>講師:</b> 遠藤 恵子（NPO法人まちづくりスポット大津 理事）	市外からの参加者が多かったため、各地域の中間支援を相談などで大いに活用するように助言した。

#### ミニ講座「活動をはじめるときの講座（運営：会則と事務）」

<b>開催日:</b> ③2025年5月30日（土）	活動を始める人に向けた初歩講座として実施した3回シリーズの最終回。初心者向けの想定であったが、すでに多様な活動をし、助成金等も活用してきた方が自団体の活動見直しのために参加した。
<b>参加者数:</b> 2名	
<b>参加費:</b> 500円/人	
<b>講師:</b> 仲野 優子さん（NPO法人しがNPOセンター 理事）	講座では、初歩の方向けの“会”や“団体”とは何か、会則に必要な要件についてかみ砕いて解説した。参加者がすでに多様な活動に取り組む方であったため、個別ワークの時間を多めに設定し、スタッフがサポートしながら自団体の会則を改めて見直す時間を設けた。また、自団体の運営を俯瞰的に知るためのワークシートを使った分析を実施。運営の担い手や、協力者の人数などを客観視し、団体として今後の課題や目標を考えた。



## ミニ講座「はじめのCanva講座」

**開催日:** 昨年度に続き、デザインツール「Canva」の初心者向け講座を実施した。SNSおよびランチ大津京周辺での告知を行い、参加者は1名であった。少人数講座のため、PCやタブレットなど参加者が利用するツールに合わせたレクチャーを実施することとし、今回はスマホでの操作に対応してレクチャーした。

**2025年8月2日（土）**

**参加者数:** 1名

**参加費:** 1,000円/人

**講師:** 北井 香（NPO法人まちづくりスポット大津）

チラシをテーマに模擬的に操作してもらい、おおよその操作方法をレクチャーした他、今後活用できるようにデザイン選択のポイントなどを伝えた。



## (2) 立ち上げ支援に関わる助成金事業

「地域で暮らす人の心地よい居場所をつくる活動」、「多様な人の共感・参加を促す活動」をする団体・個人を応援することを目的に、「彩りはぐくむ」まちづくりスポット大津助成金事業」を実施した。対象を「設立3年未満の団体」とし、仲間を集め継続的に活動していこうとする団体に向けた助成金とした。シェアスペース利用団体へも積極的に声をかけたほか、ミニ講座などの機会を通じて任意団体化と助成金申請の呼びかけをした。

### 【2025年度助成金採択団体】5団体

助成金額合計：23万4千円

団体名	申請事業名	事業概要	金額
おうさか高齢者フレイルケアの会	もっとすこやかに!! もっと健康寿命アップに!! ～多世代交流に役立てる～	高齢期の「健康」と「要介護」間の状態にあるフレイル期対象者の健康寿命アップにつながる事業として、ラジオ体操や健康維持増進につながる事業を行う。	5万円
えほんと。	青空図書館 えほんと。	核家族・孤育てが増える社会の中で、絵本・音楽を介して、人が繋がる場所、話せる場所、心が軽くなる場所をつくる。	5万円
唐崎カピバラ食堂	学校に行きづらい子ども・若者たちと家族の交流事業	不登校・学校行きしぶりの状態にある子ども・若者とその保護者を対象に、体験の機会づくりとしてアウトドア活動を実施する。	5万円
にじのわ滋賀	にじのわ滋賀	育児の困りごと、赤ちゃんとの関係や育ちが気になるママの悩みに対して、医療専門職（3職種以上）が学びと経験の場をつくる。	3万4千円
ATELIER NEST	親子創作体験ワークショップ事業	親子や地域の方々がアートでクリエイティブな体験を気楽に楽しんでもらえる場をつくる。	5万円

本助成金は任意団体としてのスタートアップ時に活用する助成金であり、今年度は特に設立直後の団体も複数採択された。そのため、団体としての会則や団体運営について学ぶ基礎講座を開催した。団体運営や助成金を使う上での基礎知識を伝えた他、「助成金」という資金の意義や目的、採択団体としての姿勢についても伝えた。その後、各団体の会則や組織体を整理するためにスタッフが個別相談を行った。

### ■採択団体向け「団体としての基礎運営講座」

**開催日:** 2025年8月19日（火）13時～16時

**参加者:** 採択団体 5団体6名、まちスポ大津スタッフ4名

**講師:** 仲野 優子さん（NPO法人しがNPOセンター 専務理事）

### ■助成金採択団体交流会

開催日：2025年11月11日（火）10時～12時

参加者：採択団体 5団体8名、審査員3名、まちスポ大津スタッフ3名  
採択団体同士が知り合うことで連携の可能性がある団体とつながりが生まれたり、団体間での情報交換を目的に交流会を行った。



### ■助成金採択団体報告会

開催日：2026年2月16日（月）10時～12時

参加者：採択団体 5団体8名、審査員3名、まちスポ大津スタッフ3名  
活動の成果や課題について発表し、活動中悩んだことや取り組みの工夫について参加者同士で意見交換を行った。また、審査委員長の森川稔さんから「地域とつながる、地域でひろがる」をテーマに話題提供をいただき、今後の活動展開のイメージが広がる時間となった。



## 3 市民活動・まちづくり等に関わる相談、コーディネート

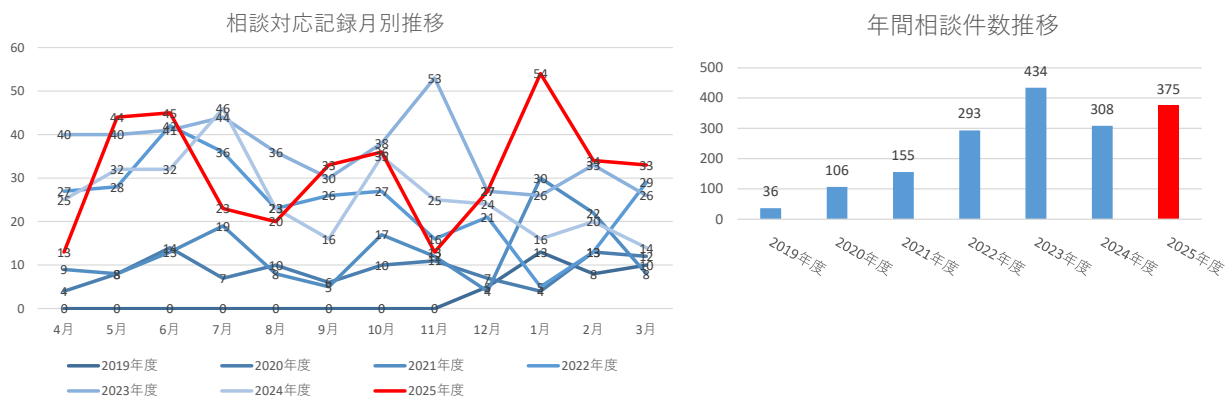
### (1) 活動相談、団体の運営相談

市民活動に関わる相談対応を随時行った。本年度は夏原グラント助成金事務局受託もあり、助成金採択団体からの様々な相談、また夏原グラント公式ウェブサイトでの情報発信へのアクセスからの相談なども多くなった。シェアスペースの使い方や、実施するイベントに関する広報・集客についての相談も引き続き数多く受けている。非営利団体運営について専門性高い相談内容にはアドバイザーであるしがNPOセンタースタッフにも協力を仰ぎながら対応した。

2021年5月から開始した予約制個別相談を有料（500円）で行う「わかばサロン」は、2025年度は11件に対応した。任意団体の会則作成や法人設立相談、事業計画などの相談を受けた。

相談申し込みはウェブサイトにも情報発信しており、検索して相談に来られる方などもあるが、2025年度はこれまで相談に来られた方や以前の助成金採択団体からの継続相談も複数あり、多様な相談に応じた。

### ■相談対応件数推移



### (2) コーディネート対応

相談対応の成果として、次の一歩につながるアドバイスや連携機関へのコーディネートを行った。

■相談対応の事例

①	<p>Q: フリースクール事業をしている。現在有償ボランティアに来てもらっているが、就業規則を作るにあたってどうしたらよいか。何年も来てもらっているボランティアは金額を上げながら運営しているが、資金が厳しいので、あまり上げられない。ボランティアの対価の扱いについて教えてほしい。</p> <p>A: 就業規則に有償ボランティアは入らないのが一般的。入れるなら労働の対価として給与を支払っている社員やパートになるので、有償ボランティアの位置づけでは難しいだろう。他団体でもイベントの手伝い等で手当として謝金を出している事例はあるが、日常的になると職員(社員)になるのではと考えられる。就労規則をつくるのなら社会保険労務士等に相談しながらが良いだろう。</p>
②	<p>Q: 昨年度、まちスポ大津の助成金を受けて外国にルーツを持つママと親子の交流会事業をスタートした。事業を継続する中で、新たに文化の違いを学びあう教室に取り組んでいきたいと思っているが、どの様にすすめていけばよいか運営について教えてほしい。</p> <p>A: まずはどのような事業スタイルにするか、営利・非営利の違いや収益事業の整理をする。また、始めは対象者に届く広報をすること、ニーズを探ることに注力することが大切であることを伝え、軌道にのってきたら継続的に開催することをすすめる。</p>

## 4 市民活動・まちづくり等に関わる情報の受発信

### (1) ホームページ等SNSを通じた情報発信

まちづくりスポット大津のホームページに活動情報を掲載することと合わせ、FacebookやInstagramで積極的に情報発信を行った。Instagramフォロワー数は1,242人となった(2025年3月末から39人増)。シェアスペースの利用者や、まちづくり関連の情報発信に関心がある方など幅広くフォローされている。

### (2) ニュースレターの発行

ニュースレター『いろどり+(プラス)』vol.31~vol.35を発行した。上半期は『いろどり+(プラス) mini』として3回発行し、日頃から関係のある団体やスタッフが今聞きたい人にインタビューをした取材記事掲載した。取材先団体からは、「団体のことを多くの方に知ってもらう機会となり嬉しい」という声がある他、取材を通してまちスポ大津の取り組みを知ってもらう機会にもなった。

また、vol.32は、7月29日に開催した「生きづらさを抱える若者を支える地域をどうつくるか」の報告として企画の内容をまとめたニュースレターを発行した。下半期は、実施事業をまとめて紹介する『いろどり+(プラス)』に夏原グラント助成金事業の採択団体の現地取材を転記した。



#### ■「いろどり+(プラス)」の発行状況

	発行月	号数	種類	取材先等
①	6月	vol.31	mini	合同会社INCREW
②	9月	vol.32	mini	つなぐサロン「生きづらさを抱える若者を支える地域をどうつくるか」報告
③	10月	vol.33	mini	滋賀学区自主防災会
④	12月	vol.34		夏原グラント「里山みんなの未来くらぶ」転記
⑤	3月	vol.35		夏原グラント「甲賀ナイスローカルカンパニー」転記

## 5 市民活動・まちづくり等に関わる協働推進事業

### (1) 他団体との連携事業

- 発達凸凹家族の会コノビル企画への協力

日 時:2025年5月25日(日)

障害のある子どもや発達グレーゾーンの子どものための学習教材展示やグッズ体験会をシェアスペースで実施。まちスポ大津は会場提供に協力した。



- 育児パパサークル「父ト」との連携

日 時:2025年10月11日(土)

育児パパのおしゃべり会を実施されている「父ト」と連携し、シェアスペースを利用して、キッズタッチケアイベントを開催。



- 災害支援としての古タオル回収(一社 比良里山クラブ連携)

日 時:2025年11月26日(水)~常設で運営

一般社団法人比良里山クラブとの連携で、災害被災地へ送るための古タオルの常時回収を開始した。回収したタオルは比良里山クラブの拠点で保管、支援団体が被災地支援へ行く際に託して現地へ届ける想定。3月末までで145枚のタオルを回収している。



- キャンドルづくり&防災カルタ・クイズ(ランチ大津京管理事務所連携企画)

日 時:2026年2月21日(土)

ランチ大津京防災企画と連動して浜田化学株式会社が実施した廃油キャンドルづくりに協力する中で、まちスポ大津は防災カルタ・クイズを実施。参加者に防災レシピーを配布した。



- インターンシップ受け入れ(特定非営利活動法人ドットジェイピー)

期 間:春期受け入れ 2026年2月26日(木)~3月24日(火)

学生1名が参加。夏原グラントの事業を中心に活動した。

- 滋賀県主催イベント「WELLNESS SHIGA FES」への開催協力

日 時:2026年3月1日(日)

マザーレイクゴルフ推進協議会が共催して開催したマルシェや体験展示、講演会などを含むイベントに開催協力した。

### (2) 受託事業等

以下の事業を受託し、実施した。

- 平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」運営委託業務(公益財団法人平和堂財団)

内 容:贈呈式や説明会の運営補助、市民環境講座の運営、事業進捗の確認等へ参加。本年度助成団体の訪問と取材記事の作成、昨年度の事業報告書確認・次年度の要項作成など。  
(2025年度~)6章に詳細を掲載

- ハッシュタグ大津京施設運営業務（大和リース株式会社）  
内 容：貸室「シェアスペース」と共有オフィス「シェアオフィス」の管理運営。日常的な施設管理業務。  
（2019年度～）7章に詳細を掲載
- 近江神宮外苑公園運営管理業務（大和リース株式会社）  
内 容：ブランチ大津京に隣接する「近江神宮外苑公園」の受付および窓口対応を実施。  
（2019年度～）7章に詳細を掲載
- 令和7年度草津ラウンドテーブルアドバイザー業務（草津市コミュニティ事業団）  
内 容：草津ラウンドテーブルの実施に向けた検討会への参加およびWS進行へのアドバイス。  
（2024年度～）

### (3) 中間支援組織との連携、情報交換

#### ■滋賀県市民活動センター意見交換会2025年度開催実績

滋賀県内の市民活動団体の動きや相談傾向等の情報交換、その時々テーマに沿った意見交換を行うことを目的として開催している「滋賀県市民活動センター意見交換会（事務局：淡海ネットワークセンター）」に参加した。

- ・ 第1回 2025年6月10日（火） 場所：県民交流センター
- ・ 第2回 2025年10月30日（木） 場所：東近江市文化交流センター
- ・ 第3回 2026年2月18日（水） 場所：守山市民交流センター

#### ■まちづくりスポットサミット

まちづくりスポットの取り組みを振り返り、現在の地域課題に対する大和リース・まちスポのミッションを改めて確認し、協働活動が次なるステップへとつながることを目的に開催された。

##### 【開催概要】

日 時：2025年7月16日（水）  
会 場：ダイワロイネットホテル四ツ橋  
参加者：10団体（各団体1～3名／計20名）大和リース：12名 外部：1名 計33名

#### ■全国まちスポ交流会

“まちづくりスポット”のネットワークの一員として、全国各地にある「まちづくりスポット」との連携を深め、活動の情報交換を目的として実施される「全国まちスポ交流会」。現地参加を予定していたが、天候の影響でオンラインでの事業報告に参加した。

##### 【開催概要】

日 時：2026年1月22日（木）～23日（金）／オンライン参加は両日の一部プログラム

### (4) 講師、ファシリテーターなどの派遣

これまでの活動実績から、連携や講師派遣の相談を受け、各スタッフが対応した。

#### ■講師派遣

日時	主催者	内容	担当
2025年5月10日（土）	志津まちづくり協議会	楽座部会「志津を楽しくする100のプロジェクト」WS運営	北井

2026年1月16日(金)	滋賀県レイカディア大学 草津キャンパス	「ボランティア活動について(入門編)」講師	白井
2026年1月17日(土)	草津市コミュニティ事業団	「市民活動交流会@くさつ『私のまちの取り組み自慢!!』」コーディネーター	北井
2026年2月4日(水)	滋賀県レイカディア大学 彦根キャンパス	「ボランティア活動について(入門編)」講師	白井
2026年2月5日(木)	滋賀県レイカディア大学 彦根キャンパス	「ボランティア活動について(実践編)」講師	白井
2026年3月6日(金)	滋賀県レイカディア大学 草津キャンパス	「ボランティア活動について(実践編)」講師	白井
2026年3月1日(土)	滋賀県	「WELLNESS SHIGA FES」シンポジウム パネルトークの登壇者として話題提供	北井
2026年3月7日(土)	志津まちづくり協議会	楽座部会「志津を楽しくする100のプロジェクト」WS運営	北井

### ■視察・研修受け入れ

日時	依頼者	内容	参加人数
2025年9月18日(木)	特定非営利活動法人 ひらかた市民活動センター	まちづくりスポット大津の事業紹介、意見交換	10名
2025年11月28日(金)	大谷大学赤澤ゼミ	ランチ大津京およびまちづくりスポット大津の事業紹介、意見交換	45名
2026年2月5日(木)、6日(金)	大津商業高等学校	1年生による地域商店・施設へのフィールドワーク受け入れ対応	8名

### (5) 委員会等への派遣について

スタッフが依頼を受けて以下の委員会へ参加している。

名称	運営者	委嘱期間	担当者
大津市ボランティアセンター運営委員会委員	社会福祉法人大津市社会福祉協議会	2023年11月29日～ 2027年11月28日	白井
マザーレイクゴールズ案内人幹事会	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課	2025年4月1日～2026年3月31日	北井
滋賀県デジタル社会推進懇話会委員	滋賀県総合企画部DX推進課	2025年4月1日～2028年3月31日	北井
大津市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定プロジェクトチーム会議 庁内・社協ワーキンググループ	大津市	2025年1月～	白井
大津市社会福祉協議会評議員	大津市社会福祉協議会	2025年6月23日～ 2028年度	白井

## 6 平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」運営委託業務

平和堂財団が2012年年度から行う環境保全活動助成事業「夏原グラント」の事務局運営をNPO法人しがNPOセンターに代わって、本年度4月から受託した。

事務局としては当該年度中に、採択団体への講座や交流促進に関する事業の他、前年度の採択団体からの事業報告及び会計報告の最終報告書類確認、次年度助成金への応募および採択に関する業務に取り組んだ。なお、事務局として初年度のため、運営全般に関してNPO法人しがNPOセンターのサポートを受けた。

### (1) 平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」運営概況

夏原グラントは、一般助成およびファーストステップ助成の2種類の助成金のほか、一般助成を3年間受けた団体向けのステップアップ助成がある。

#### ■夏原グラント助成金 種類

種類	対象	助成額	継続期間
一般助成	2年以上の活動実績があり、先進的で他のモデルとなるような事業への助成	上限50万円/件	3年間の継続も可能
ファーストステップ助成	これを機に団体を立ち上げて活動を始めようとする場合、または小規模で継続的な活動への助成	上限10万円/件	2年間の継続も可能
ステップアップ助成	一般助成を3年間受けた団体向け、活動が継続できるための組織基盤を整えることを目的とした助成	上限50万円/件	2年間

#### ■2025年度の採択団体数と助成総額

- 助成総額 18,935,000円
- 採択団体数 63団体

助成金種類	1年目	2年目	3年目
一般助成	16団体	14団体	13団体
ファーストステップ助成	12団体	7団体	
ステップアップ助成	0団体	1団体	

事務局業務では、それぞれの団体からの助成金に関する計画変更や予算使途変更に関する相談に随時対応している。また、専門的な相談や他事例に関する相談もあり、選考委員や詳しい別の団体へつなぎ情報収集することにも対応した。

なお、今年度助成金採択に関する選考委員会・団体への採択結果通知までは前年事務局であるNPO法人しがNPOセンターが担当した。

### (2) 前年度採択団体への対応

#### (2)-1 2024年度団体の最終報告書確認

助成金事業期間は当年4月から翌年3月末までとなり、事業を終了した団体は、年度終了後4月20日ごろを締め切りとして事業報告および会計実績報告の最終報告書を提出する。事務局として、年度当初には、その提出を受け、前年度団体の報告内容および会計の適正確認を行った。

事業と助成金の経費ルールに則って適正に使用されているか確認を行い、使途不明瞭なものは担当者へ確認を取るなどした。支出額が採択額に満たなかった団体は返還などの手続きを進めた。1団体が提出に至らず、8月に助成金返上の手続きとなった。

## ■2024年度の最終報告書の確認件数

- 全助成団体 63件

### (2)-2 印刷物作成 前年度活動報告書作成

前年度採択団体の事業をとりまとめた報告書を発行した。団体ごとに「夏原グラントで実施した事業の紹介」「環境や地域への貢献」「助成金が活きたと思う点」の3つの視点から活動を振り返った文章を作成してもらい、一般助成およびステップアップ助成の全42団体分を掲載した。

県内の間伐材を利用して作られている「kikitoペーパー」を利用して1000部を印刷。助成金応募の広報に資するものとして、各地の公共施設や環境活動拠点、図書館などに配布した。



## (3) 2025年度採択団体への対応

### (3)-1 贈呈式

第14回平和堂財団主催「2025年度夏原グラント」助成金贈呈式の準備、運営を行った。

贈呈式には、一般助成およびステップアップ助成全団体の採択団体から1～2名が参加し、平和堂財団衣斐常務理事が目録贈呈を行った。その後の交流パーティーでは、コロナ禍中にいったん中止となった立食での交流形式により、滞りなく進行した。

本年度から交流パーティーでの配席図を作成し、参加者へ配布したため、近い活動内容の団体と交流を図ろうと、積極的に声を掛けに行き話し込む姿が目立った。



#### 【開催概要】

日時:2025年4月19日(土)

贈呈式 10:00~12:00 / 交流パーティー 12:30~14:00

会場:クサツエストピアホテル 瑞祥の間

参加者:80名

活動報告団体:① 海浜植物守りたい ② 下区集落支援事業委員会  
③ NPO法人近江淡水生物研究所

### (3)-2 ファーストステップ助成1年目団体オリエンテーション

ファーストステップ助成1年目の採択団体に向けて、助成金の事務的なオリエンテーションを実施した。講座や交流会など助成金に関連した1年間のスケジュールの他、会計上の注意、会計管理の方法についても伝えた。

#### 【開催概要】

日時:2025年4月23日(水) 10:00~11:30(オンライン)

参加者:14名

講師:阿部 圭宏(NPO法人まちづくりスポット大津 代表理事)

### (3)-3 市民環境講座

環境保全活動に関する学習の場を設け、活動のブラッシュアップにつなげる意図で「市民環境講座」を実施した。2回の講座を行い、講師は夏原グラント選考委員に依頼した。ファーストステップ助成1年目および一般助成1年目団体は必須参加となっており、活動に必要な情報を得てもらう機会となった。また、一般市民の参加も可能な講座としており、広報の結果のべ5名が参加した。

#### 【開催概要】第1回「自然環境保全の考え方とポイントについて」

日時:2025年6月7日(土) 14:00~16:00

会場:大津市ふれあいプラザ 5階 大会議室

参加者:38名

講師:西野 麻知子さん

(元びわこ成蹊スポーツ大学 教授・夏原グラント選考委員)

#### 【開催概要】第2回「助成団体間の連帯を深めていくために」

日時:2025年7月12日(土) 14:00~16:00

会場:滋賀県立県民交流センター 305号室

参加者:35名

講師:脇田 健一さん

(龍谷大学社会学部 教授・夏原グラント選考委員長)



### (3)-4 交流会

助成金採択団体それぞれの活動を聞き、取り組みから学び合う趣旨で「交流会」を開催した。本年度は活動中の悩みや課題について共有し、ヒントやアイデアを得ることも期待して、テーマ別交流を行う時間を設定した。話題にするテーマは当日、その場で提案を受け付け、関心が高いテーマのグループに分かれてもらう方法で行った。また、参加者のニーズや成果を把握するため、アンケートを実施した。

アンケートからは、活動運営や会としての取り組みなどについて同じく活動する団体間との交流が図れる機会として高いニーズを感じられていることがわかった。また、悩みを話し合う中で、励まされることも多かったようだ。

交流会は、4か所の会場で行い、採択団体はどれか1か所には必ず参加することとして募集した。事務局が全体の運営とともに、当日の会進行、グループワークのファシリテーターを務めた。

#### 【開催概要】

##### ■ 第1回

日時:2025年8月24日(日) 13:30~16:00

会場:県民交流センター207号室

参加者:20名

##### ■ 第2回

日時:2025年8月28日(木) 13:30~16:00

会場:近江八幡商工会議所大ホール

参加者:28名

##### ■ 第3回

日時:2025年8月30日(土) 13:30~16:00

会場:YIC京都2号館8階285教室

参加者:14名

##### ■ 第4回

日時:2025年9月3日(水) 13:30~16:00

会場:YIC京都2号館8階285教室

参加者:31名



### (3)-5 活動訪問

一般助成1年目団体の活動現場を訪ね、活動の様子を取材した。取材内容は活動レポートにまとめて、夏原グラント公式サイトで公開した。

取材時には、活動の様子だけでなく、会の構成員の関わりや地域との連携などについてもヒアリングするようにし、応募される事業計画の背景の把握や、採択団体の状況把握に活かしている。事務局内でも取材時の情報を共有するようにし、日頃の相談対応時にも参照しながら適切な案内を行うことに活かした。

- 訪問予定の団体数 一般助成1年目団体 16団体、前年度の取材延期団体1団体
- 取材実施件数 17団体
- 活動レポート掲載 掲載終了15団体／作成中2団体

### (3)-6 組織運営のヒント:ステップアップ助成終了団体への取材

組織基盤に関する助成を行う「ステップアップ助成」を終了した団体を対象とし、その後、どのように活動されているかフォローアップのインタビューを行っている。その内容をまとめたものは「組織運営のヒント」として夏原グラント公式ウェブサイトに掲載した。

2025年度に取材対象となる団体は2団体あり、取材を終了した。そのうち1団体については、その内容から記事を執筆し掲載した。

- 年齢に応じた子どもたちの自然体験を通じて子育てママ等を支援する「こそだてママnet☆」の取り組み ～ボランティア団体から法人へ、ニーズの多様化から次のステップを考える～  
(2025年08月30日掲載)

### (3)-7 情報発信(ウェブサイト・その他)

夏原グラントの公式サイト運営も引継ぎ、まちづくりスポット大津で運営した。サイトには、活動レポートの掲載の他、採択団体に向けた事務連絡、実施した事業の報告などを掲載している。また、次年度の助成金募集に向けた、説明会・相談会の開催情報掲載を行う。応募に関する様式類も掲載しており、本年度は各様式の書式・記載項目を整理して、更新した。

なお、サイトの維持管理のため、サイト保守の委託を開始した。

#### ■その他の情報発信活動

①	自然体験プログラム 実践講座【基礎編】	案内配布	協力：滋賀県環境政策課
②	MLGsみんなのBIWAKO会議/COP4	ブース出展	会場：びわ湖ホール中ホール
③	もりやま市民活動フェスタ2025	ブース出展	会場：守山市民交流センター

### (3)-8 ステップアップ講座

「ステップアップ講座」は、一般助成を3年目終了後に応募できるステップアップ助成に関する説明と、組織基盤強化の考え方についての講座を実施する。ステップアップ助成は環境保全活動とともに組織基盤強化に関する方策に取り組むもので、団体ごとに異なる組織課題と解決へのアプローチがあるため、講座とともにスタッフが相談対応しながら個別ワークに取り組んだ。

今年度は、一般助成3年目13団体中、7団体が受講した。ステップアップ助成への応募には本講座の受講が必須となるため、都合が合わない団体には個別に調整し、全部で3回実施した。講師は全講座ともにNPO法人しがNPOセンター 仲野さんが務めた。

## 【開催概要】

①日 時:2025年10月25日(土)13:30~16:30  
会 場:滋賀県立県民交流センター 202会議室  
参加者:4団体 8名  
講 師:仲野 優子さん(NPO法人しがNPOセンター 専務理事)

②日 時:2025年10月29日(水)13:00~15:30  
会 場:ハッシュタグ大津京シェアスペース  
参加者:2団体 2名  
講 師:仲野 優子さん(NPO法人しがNPOセンター 専務理事)



③日 時:2025年11月7日(金)14:00~16:30  
会 場:ハッシュタグ大津京シェアスペース  
参加者:1団体 3名  
講 師:仲野 優子さん(NPO法人しがNPOセンター 専務理事)

## (3)-9 ファーストステップ助成団体ヒアリング

ファーストステップ助成は立ち上げ支援や小規模な事業への支援を行う助成枠であり、特に1年目は初めての助成金活用となる団体も多く採択されている。事務局によるサポートの一環として、秋ごろに4月からの活動状況を確認し、今後の事業運営について相談を受ける団体ヒアリングを行った。また2年目終了時には一般助成への応募を必須としており、次年度の応募に向けた相談にも応じた。

2日間を設定し、ファーストステップ助成1年目2年目の全団体へ対応した。

## 【開催概要】

①日 時:2025年11月1日(土)9:30~15:00  
場 所:ハッシュタグ大津京シェアスペース  
対応数:8団体(オンライン対応1団体)

②日 時:2025年11月7日(金)9:00~16:30  
場 所:ハッシュタグ大津京シェアスペース  
対応数:10団体(オンライン対応2団体)

## (4) 2026年度応募に関する事業

### (4)-1 印刷物作成 次年度募集要項作成および広報活動

次年度の助成金募集に向けて、募集要項を作成した。応募にあたり要件を整理してまとめた。

3000部を印刷し、滋賀・京都の中間支援組織、環境活動の拠点施設、県内の地域自治組織など助成金を活用される余地のありそうな拠点へと郵送配布した。本年度は、滋賀・京都の図書館へも郵送し配架協力を依頼した。滋賀県内では本館・分館含む全図書館、京都府内の各市町村の図書館本館へ宛てて郵送した。また、滋賀県内各市町を訪問し、市民活動を所管する担当課を中心に助成金募集について紹介し、手渡した。

郵送先の状況は以下の表の通り。別途、持参や催しなどの機会での配布などを行っている。また、応募開始時期と終了時期に合わせてSNS広告を利用した発信を行った。



また、今年度から表紙デザインを新たにしました。

### ■郵送先の一覧

	件数	部数	滋賀			京都		
			件数	部数@	総数	件数	部数@	総数
財団	1	50	1	50	50			
選考委員	5	10	4	2	8	1	2	2
採択団体	48	48	22	1	22	26	1	26
中間支援	49	490	16	10	160	33	10	330
中間支援（拠点施設）	2	60				2	30	60
環境中間支援	41	205	27	5	135	14	5	70
協力団体	1	10				1	10	10
ボラセン	19	95	19	5	95			
まち協	136	136	136	1	136			
公共施設・大学	13	26	5	2	10	8	2	16
大学教員	36	36	15	1	15	21	1	21
図書館	87	435	53	5	265	34	5	170
行政	223	446	99	2	198	124	2	248
<b>合計</b>	<b>661</b>	<b>2,047</b>	<b>397</b>		<b>1,094</b>	<b>264</b>		<b>953</b>

### ■Meta（Instagram、Facebook）広告の発出

①	2025年11月13日(木)～11月27日(木)	表示数：8,933件 / リンククリック：165件
②	2026年1月24日(土)～1月30日(金)	表示数：38,900件 / リンククリック：879件

#### (4)-2 応募書類書き方講座

継続応募対象の団体に向けた応募書類の書き方を解説する講座を実施した。実施の経緯は、選考委員が応募時の書類によって「事業実績」「事業成果や課題」「次年度の事業への反映」がわかりやすく把握できるように、選考委員からの意見も受けて始まったものである。継続応募に取り組む初年となる、ファーストステップ助成1年目、一般助成1年目の団体に必須参加として実施した。

講座では、様式を具体的に示しながら記入内容に望まれることを伝えた。

#### 【開催概要】

日 時：2025年11月18日(火) 10:30～11:30（オンライン）

参加者：28名、別途日程でその他3名に対応

#### (4)-3 説明会・相談会

夏原グラントへの応募を考えている団体に向けて、2026年度応募に関する説明会を実施した。説明会の後は、同じ会場で相談会を実施、スタッフが団体個別の相談に応じた。会場は各地域に設定したほか、オンライン相談会も実施した。オンライン相談会対応には、NPO法人しがNPOセンターへも依頼し、できる限り申込者の要望に応じて対応した。

#### 【開催概要】

- |   |          |                |        |
|---|----------|----------------|--------|
| ① | 京都会場     | 2025年11月27日(木) | 参加：1団体 |
| ② | 草津会場     | 2025年11月29日(土) | 参加：7団体 |
| ③ | 彦根会場     | 2025年12月3日(水)  | 参加：3団体 |
| ④ | 大津会場     | 2025年12月5日(金)  | 参加：6団体 |
| ⑤ | 南丹会場     | 2025年12月10日(水) | 参加：1団体 |
| ⑥ | オンライン相談会 |                | 対応：3団体 |

#### (4)-4 応募受付事務

2026年度応募への受付を2025年12月1日(月)から2026年1月30日(金)まで行った。説明会・相談会終了後も電話やメールでの問い合わせ、応募書類についての質問に対応した。応募書類受付時にも書類確認、それに伴う団体への連絡、修正対応可能な日程での応募の場合は再提出の受付対応などを行った。

##### ■2026年度助成への応募件数

助成金種類	〔新規応募〕		〔継続応募〕		合計
	1年目	2年目	3年目		
一般助成	33団体	15団体	12団体		91団体
ファーストステップ助成	15団体	10団体			
ステップアップ助成	6団体	(該当なし)			

#### (4)-5 選考委員会およびプレゼンテーションの開催

選考委員会は、助成金年次によって異なる選考方法を採用しており、以下の日程で開催した。選考の手順によっては、選考委員に事前選考を依頼し、当日さらなる選考・検討を加えて採択団体を決定した。

##### ■選考委員会の開催

助成金種類	年次	選考方法	実施日
ファーストステップ助成	1年目	書類選考	2026年3月9日(月)
	2年目	書類選考	2026年3月9日(月)
一般助成	1年目	書類選考(一次) プレゼンテーション選考(二次)	2026年2月26日(木) 2026年3月22日(日)
	2年目	プレゼンテーション選考	2026年3月9日(月)
	3年目	事務局ヒアリングによる報告 および書類選考	2026年2月13日(金)～ 2月14日(土)※ヒアリング 2026年3月22日(日)
ステップアップ助成	1年目	書類選考	2026年3月22日(日)
	2年目	ヒアリング選考	(該当なし)



##### ■2026年度助成金 選考委員

選考委員長	脇田 健一さん	龍谷大学社会学部 教授
	内田 香奈さん	NPO法人きょうとNPOセンター 副統括責任者
	西野 麻知子さん	元びわこ成蹊スポーツ大学 教授
	辻 博子さん	しがローカルSDGs研究会 事務局長
	高橋 卓也さん	滋賀県立大学環境科学部 教授

#### (4)-6 2026年度助成団体の決定と通知

選考委員会にて確定した採否をもとに応募団体へ通知を発送した。採択団体へは次年度実施する贈呈式（一般助成およびステップアップ助成のみ参加対象）への出席案内を同封。ファーストステップ助成団体へは助成金の運営についてのガイダンス資料を同封し、送付している。

##### ■2026年度 採択団体と助成金総額

助成金種類	年次	団体数	助成額総額
ファーストステップ 助成	1年目	9団体	828,000円
	2年目	10団体	980,000円
一般助成	1年目	17団体	6,580,000円
	2年目	15団体	5,890,000円
	3年目	12団体	4,800,000円
ステップアップ助成	1年目	1団体	500,000円
	2年目	(対象なし)	—
合計数		64団体	19,578,000円

#### (5) 助成団体へのサポート(相談対応)

事業期間を通して、採択団体からは提案された事業内容や予算の用途変更等をはじめ、さまざまな相談での連絡がある。助成金の運営上の変更事項は事務局内で共有し、速やかに対応した。また、終了後に行う会計確認のため、記録を残すように努めた。

その他、助成終了団体からの問い合わせや、ウェブサイト公開している活動レポートを見て団体活動への問い合わせなどもあり、それぞれ丁寧に対応した。

##### ■採択団体からの質問件数(概算)と主な質問

- 質問件数 40件（軽微な質問対応は件数把握できていない）
- 特徴ある質問と対応の一部紹介

	質問内容		対応
①	藤袴苗を入手したいと贈呈式で伺った団体があり、連絡を取りたい。	→	本人に確認し、連絡先を伝えた。
②	京都府内で炭焼きサミットを開催する。滋賀県内の団体へも周知協力可能か。	→	高島市にて交流活動があり、支援している高島市域の中間支援組織に伝えた。
③	果樹の食害防止のための効果的な獣害防止柵について情報がほしい。	→	獣害防止に取り組む環境活動団体のSNSを調べ情報提供した。
④	近所で活動している団体をウェブサイトで知った。子どもと参加できる機会があるか。	→	過去の採択団体であったため、現在の状況を確認したうえで連絡先を紹介した。

## 7 市民活動・まちづくり等の支援のためのハッシュタグ等施設運営

### (1) ハッシュタグ大津京 シェアスペースの運営と利用促進

大和リース株式会社から管理運営委託を受け、拠点施設「ハッシュタグ大津京」のシェアスペース（貸しスペース）・シェアオフィス（会員制共有オフィス）の運営を行った。

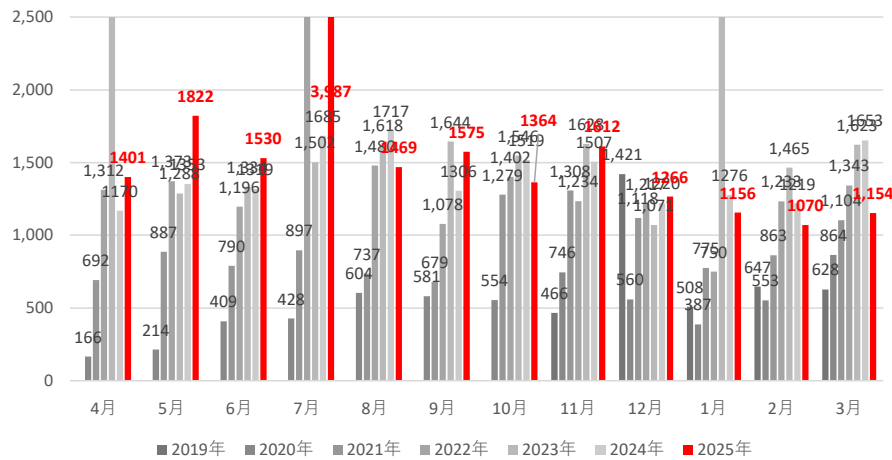
2025年度のシェアスペース平均稼働率は52.3%であった。過去2年に比べるとやや低めの稼働状況となっている。10月から15%の料金値上げが行われており、稼働率に影響しているかもしれない。

平日日中は英会話教室や鍵盤ハーモニカ教室があり、継続的な利用につながっているが、親子リトミックやベビーマッサージなど、他にもあった定期的な利用者がやや少なくなった。週末中心に、平日でも屋内マルシェを開催されることが増えた。夜間時間帯の定期利用は、木曜と日曜を除く各曜日にダンス教室などの利用がある。

#### ■月別来館者推移

※投票所利用実績：

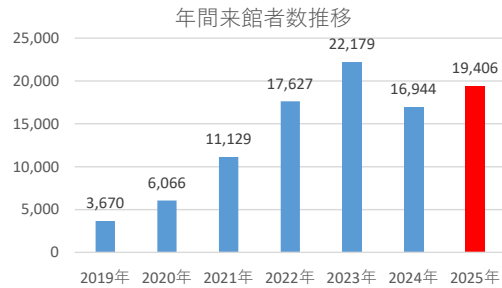
- 2022年度 7月
- 2023年度 4月・1月
- 2025年度 7月



#### ■年間来館者数推移

開館以来の累計来館者数は、9月に9万人に達した。前述したように多彩なマルシェの会場となることが集客数増につながっている。7月は参院議員選挙の投票所となり、来館者数を押し上げた。

施設利用には大和リース株式会社が管理するハッシュタグ大津京ウェブサイトで会員登録を行い、貸し室の申し込みを行うシステムとなっている。2025年度は90件の登録があった。



#### ■交流スペースとしての環境整備

ハッシュタグ大津京を拠点とした交流促進のため、事務スペース横の「コミュニティスペース」を活用した講座や交流事業を複数回行った。また、ウクライナの子ども支援を行っている「さくらちゃんプロジェクト」のメンバーが月に1～2回、定例活動で利用された。

施設の東角にあるガラス張りの一角を展示スペースとして活用しており、活動団体の紹介や防災などテーマに沿った情報展示を行い、足を止めて展示に見入る方もいた。

- コミュニティスペースの利用件数 82件

主な利用：2階シェアオフィス利用者の打合せ・面談、相談利用、まちスポ大津自主事業等

#### ■シェアオフィスの利用 2025年度 継続利用数：10組（満席のため新規契約はなし）

## (2) 近江神宮外苑公園(ブランチパーク)グラウンドの利用受付

大和リース株式会社が指定管理者として運営を行っている近江神宮外苑公園について、有料施設の利用受付対応を受託し、日々の運営を行った。

業務内容は、新規利用者の受付とシステム登録、電話での質問等への対応、利用予約・キャンセルへの対応、利用料金の徴収などである。グラウンド利用は徐々に認知が高まり、週末はサッカースクールやかけっこ教室、スポーツイベント等の利用でにぎわっていた。



### ■2025年度実績

新規登録者	11件 (法人含む)
利用者数	14件
利用予約件数	のべ150件

## 8

## NPO法人まちづくりスポット大津組織運営

### (1) 会員、ボランティア数

- 正会員：14人
- 賛助会員：12人、7団体
- まちスポメンバーズ：9人
- ボランティア数：2人

### (2) 理事会の開催について

法人事業や予算の検討、規程に関する協議のため理事会を開催した。

#### ■2025年度理事会開催実績

- 第14回理事会 2025年5月26日(月) 場所：まちづくりスポット大津
- 第15回理事会 2025年11月10日(月) 場所：まちづくりスポット大津
- 第16回理事会 2026年3月16日(月) 場所：まちづくりスポット大津

### (3) 総会の開催について

法人の事業運営のため、総会を開催した。

#### ■2025年度総会開催実績

- 第5回通常総会 2025年5月26日(月) 場所：まちづくりスポット大津

### (4) 認定について

パブリック・サポート・テストのうち、条例個別指定の基準において申請を行い、認定特定非営利活動法人として滋賀県から認定を受けている。

- 認定日 2024年10月30日(期限：2029年10月29日)